

【問題】

次頁以下に掲げる文章は、ユルゲン・ハーバマス『イデオロギーとしての技術と科学』（長谷川宏訳、平凡社、二〇〇〇年、八三―一〇二頁）に収められた文章である。

この文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

問一の解答は答案紙の表面に、問二の解答は答案紙の裏面に、それぞれ記しなさい。

問一

傍線部（１）「うえにのべたふたつの発展傾向のおかげで、資本主義社会はおおきくかわった」とあるが、「ふたつの発展傾向」とは何を指すか、具体的に示したうえで、資本主義社会がどのように変わったのか、著者の見解に即して説明しなさい。

問二

傍線部（２）「ふるいイデオロギーとあたらしいイデオロギーとのちがいは」とあるが、「ふるいイデオロギー」と「あたらしいイデオロギー」とは何か、文中の別の表現を用いてそれぞれ説明したうえで、両者がどのように違うのか、著者の見解に即して説明しなさい。